「世界の中の私たち」教材ガイド

本教材の趣旨

本教材は、日本語を母語としない学習者にも学びやすい教材を目指して作成されました。社会科「公共」領域のいくつかのトピックについて、日本語を母語としない学習者が「読んでわかる」教材となることを目指して作成されています。

そのため本教材では「やさしくざっくり」を心掛けました。記述に際しては論理構造を明確化・簡素化し、表現においては複文を避けた平明な日本語を基本とし、適宜、ふりがなや英語も交えています。

学校現場での使用方法としては、授業の予習復習として本教材を使うことができます。また、本教材を他言語に翻訳して使用することもできます。単文表現で構成されていますので、Google 翻訳や DeepL などの機械翻訳サイトでも、翻訳がなされやすいかと思われます。

各教材の構成ですが、教材の冒頭で「本日のテーマ」「キーワード」を提示し、本文は一問一答形式によって記述されています。最後部には、学習内容のまとめとして、また、自身の考えを表現するものとして、「記述コーナー」を設けてあります。本教材は「やさしくざっくり」を旨としておりますので、本教材で扱われていない内容については、適宜、授業の中で取り上げて頂ければ幸いです。

本教材の内容

本教材では、近代社会を支える法と人権にかかわる内容に焦点をあてます。扱われている具体的なテーマは以下の通りです。本教材では、人類と移動の歴史から説き起こしています。その後は、日本国憲法を軸として、その成立や原理について記述し、その後は平等権、社会権、自由権などの権利について、日本の具体的な課題にも触れながら説明しています。外国籍の人の権利については、第８回において、学ぶ権利や参政権などの事例に触れながら、具体的な議論を紹介しています。第１０回では人権の再定義と題して、人権の実体化の歴史について説明しています。ここでは、人権概念には常に語り落されるものがあり、問題提起がされながらより広範な人権概念へと訂正されてきた歴史を紹介しています。また、第９回「外国籍の人の権利について考えよう」においては、外国籍の人々が直面している事象を取り上げています。ぜひ、議論にご活用いただければ幸いです。

「世界の中の私たち」

第１回　人類と移動の歴史
第２回　市民革命と基本的人権
第３回　日本国憲法の成立がわかる
第４回　日本国憲法の原則がわかる
第５回　平等権と日本の課題がわかる
第６回　自由権がわかる
第７回　社会権がわかる
第８回　外国籍の人の権利がわかる
第９回　外国籍の人の権利について考えよう
第 10 回　人権の再定義がわかる